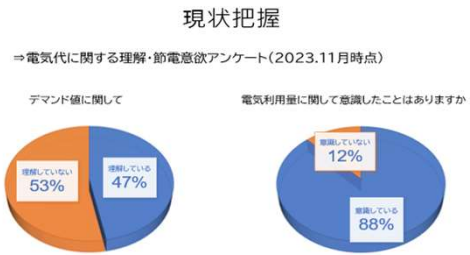


演題名	電気代削減対策の見直し		
施設名	ケアセンターけやき	(ふりがな) 発表者(職種)	(さわだ みなと) 澤田 港(介護福祉士)
(ふりがな) チーム名	(けあせんたーけやき せいさんせいこうじょういいんかい) ケアセンターけやき 生産性向上委員会		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
取り組種別	問題解決型		
改善しようとした 問題課題	電気基本料金削減 温暖化・電気代の高騰の影響から冷房費が増える懸念があるため、前回の施策を継続・改善し、今年の夏に向け取り組む。		
改善の指標と その目標値	(指 標)基本料のベースとなるデマンド値の理解広めて、節電を促進し電気代削減 (目標値)2024年3月までに2022年同時期と比較しデマンド値を30%削減		
実施した対策	<ul style="list-style-type: none"> ・節電物品の追加 ・共有部の照明管理を各部署に割り当てる ・委員会での進捗状況の確認 ・節電呼びかけるポスターの作成 ・デマンド説明会の上映 ・各部署朝礼等の送り時でのその日のデマンド値の周知 		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前)2022年4～6月 デマンド平均値 86.6 (実施後)2024年4～6月 デマンド平均値 68.0(21.4%減)		
歯止めと 標準化	標準化:節電対策、管理一覧表を作成し各部署で周知を行なう 管理:毎月委員会で対策の進捗を確認、節電の促しを行う 教育:施設内研修でのデマンドの説明会動画の上映		
活動の種類 ※複数選択可	①職場単位の活動 ②複数の職場が連携した活動 ④組織全体で取り組んだ活動	チーム メンバー (職種)	1 澤田 港 介護福祉士
活動の場 ※複数選択可	③管理部門 ④その他		2 笹川 義弘 介護福祉士
活動期間	R5.12～R6.6		3 松崎 裕統 言語聴覚士
リーダー名 (職種)	澤田 港(介護福祉士)		4 阿部 慎太郎 介護福祉士
活動回数	7 回		5 島田 聡美 ケアマネージャー
			6 平井 敏男 介護福祉士
			7 島山 智貴 事務
		8 吉田 卓 作業療法士	
		9	
		10	
		11	
		12	
		13	

【現状把握】



現状把握 (前回の対策の現状)

対策	具体的内容	現状
節電物品の設定	ウォッシュレット 節電機能	ウォッシュレットのみ
ルールの再共有	空調温度変更のルール	部署によって曖昧に
節電の指示と推進	互いに節電の呼びかけ	人により差がある
デマンドシステムの浸透と対応	説明会を設定	定期的に行なえていない
情報の共有	デマンド値をメールにて共有	メールが手間で継続出来ていない

【目標設定】

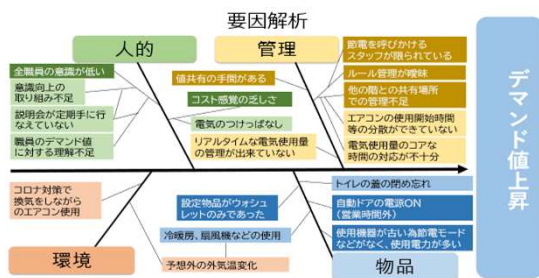
目標設定

3月までに8月～9月利用分の基本料金を

対2022年度同時期比

30%減

【要因解析】



要因解析：重要要因の検証

要因	事実確認	特性値への影響	判定
設定物品が1つのみ	ウォッシュレットのみで節電の取り組みが、検出出来ていなかった。	ベースの消費電力を抑えるのに他に検討する余地は十分にある	○
ルール管理が曖昧	共有部分での曖昧さがある	特に1F共有部分の責任所在が曖昧であった	○
職員の節電・コストへの意識低下	節電への呼びかけは決まった職員しか実施出来ていない、定期的な研修が出来ていない	互いに声かけしないと意識は薄れ、結果電力消費に繋がる アンケートから職員の半数が理解できていない現状	○
情報の共有	デマンド値の共有が出来ていない	確認して共有し、各委員が確認では2度手間	○
機器が古く節電機能がない	エアコンやサーキュレーター、冷蔵庫等古い型の物品が多数報告として挙がった。	古いものもあるが、今回は新たに物を追加することは今回の取り組みでは除外	×

【対策の立案と実施】

対策の立案・修正

重要要因	1次対策	2次対策	3次対策
設定物品が1つのみ	他の節電物品が無いか調査	Googleフォームにて募集	節電物品の追加
ルール管理が曖昧	共有部分の節電対策対応の振り分けを行う	相談室・休憩室・トイレを割り当て	
職員の節電・コストへの意識低下	呼びかけあえるシステムを作る	節電の呼びかけのポスター設置	
	定期的なデマンド研修	教育委員会に協力を仰ぎ全体研修に相談	8月に研修が実施されたため、デマンドの説明会も実施
	緊急的にデマンドを共有できるようにする	委員がシステムにアクセスできるようにする	各部署での周知

対策の検討

カットオフ値：20点

方策	効果	実現性	経済性	継続性	重要性	緊急性	得点
節電物品の追加設定	5	5	5	5	5	4	24
共有部分の割り当て	5	5	5	5	5	5	25
委員会での周知	4	5	5	5	5	5	24
ポスター掲示	4	5	5	5	5	4	23
デマンド説明会の設定	5	5	5	5	5	4	24
デマンド値を各部署での周知	4	5	5	4	5	5	23

対策の実施

NO	対策 (why)	When	Who	Where	What	How
①	節電物品の追加設定	R5.12～	松崎	エントランス 各部署	自動ドアを エアコンを	不常用時に節電モードに切り替え 又はOFFにする
②	共有部分の割り当て	R5.12～	事務 (豊川) 通リハ (高田) 訪問 (高田)	廊下 事務室 事務室内トイレ	照明を	不常用はOFFにする
③	委員会での確認	R5.12～	澤田委員長	休憩室	節電の取り組みを行っているか	進捗の確認を行う
④	ポスター掲示	R6.1～	高田	スタッフルーム	節電呼びかけの ポスターを作成し	掲示する
⑤	デマンド説明会実施	R6.4～ (実施3回)	吉田	フロア	デマンド説明会動画を	上映する
⑥	デマンド値を 各部署で周知	R5.12～	各委員 (確認は別部)	各部署内	その日のデマンド値を	メール (送付済) にて周知する

対策の実施①節電物品の設定



対策の実施②共有部分の割り当て



対策の実施③委員会での確認

節電の取り組みの進捗確認・促し実施



対策の実施④ポスター掲示

ポスターの掲示

節電実施のポスター

+

職員への呼びかけポスターを掲示
(スタッフゾーン)



対策の実施⑤デマンドシステム研修実施

教育委員会に協力を要請
⇒年度の研修計画に絡込む
時間の合わない職員がいる
⇒電気料金の仕組みに関するサイト閲覧

職員全体の電気代システムの理解を深める



日本テック/<https://service.n-techno.co.jp/denki/>

対策の実施⑥情報の共有

メールで周知

↓ 手間...

電力会社のサイトから直接閲覧
生産性向上委員会は**全員閲覧可**
各部署にて使用量を周知



【効果の確認】

効果の確認

デマンド値 4月～6月 平均値

2022年

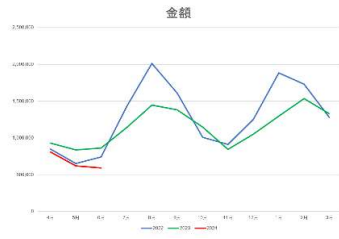
86.6

2024年

68.0

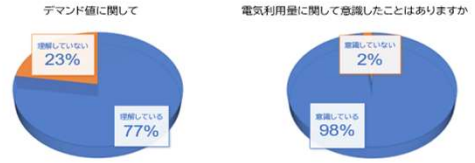
21.4%減

効果の確認（有形効果）



効果の確認（無形効果）

・電気代に関する理解や節電意欲アンケート(2024.6月時点)



【標準化と管理の定着】

標準化と管理

区分	対策 (why)	when	where	Who	what	how
管理	状況確認	毎月	休憩室	薄田委員長	対策の進捗を	確認・促しを行う
標準化	節電一覧表作成	5/6.6~	各部署	笹川	節電対策管理一覧表を	作成・周知する
教育	施設内研修	年一回	フロア	教育委員 吉田	デマンドの研修を	実施する

【反省と今後の進め方】

反省と今後の課題

活動内容	良かった点	悪かった点
テーマの選択	スタッフから意欲的に取り組みたい意見が聞かれ迅速にテーマを決定できた。	特になし
現状把握	前回の経験からスムーズに現状把握を実施出来た。	特になし
目標設定	スタッフの意欲の高さから以前より高い目標をたてられた。	目標数値に対する根拠が薄かった。
要因解析	フォームを活用し効率的に進めることができた。	対面で話し合う時間が取れなかった。
対策立案	前回の至らなかつた点を加味し、真の高い対策を講じた。	新たな取り組みの意見が少なかった。
対策実施	各自が積極的に動き、かつ他の委員会も巻き込んで取り組めた。	特になし
効果確認	前の取り組みを基に行なったためスムーズに行えた。	特になし
標準化	これからも毎月の委員会で行うため、節電に努める意識が継続出来ている。	特になし
まとめ	節電への意識が一層高まり、結果としても電気代削減に繋がった。	夏場の冷房により電気代が高まるため、そこまで結果を追いいたい。

ご清聴ありがとうございました。

